

COCニュースレター

新座市をキャンパスに! ◆(プラス) となる人づくり、街づくり



< NO. 5>平成27年11月18日発行 十文字学園女子大学地域連携推進機構 (COCセンター)

本学で 開催!

第4回埼玉クイズ王決定戦 参加者大募集!

クイズを通して埼玉の魅力を発見する「第4回埼玉クイズ王決定戦」の予選が、本学で開催されます。新座市をはじめとする地域との結びつきを深め、郷土を学ぶチャンスです!「埼玉県内で行われる『たたら祭り』といえば、開催されるのはどこの市町村?」などといった、埼玉の歴史や文化、観光など幅広いジャンルからクイズが出題されます。優勝チームには台湾旅行、参加者全員に素敵な参加賞のプレゼントがあります。

◇予選日時・会場: 12月20日(日)13:00~15:30 十文字学園女子大学

◇参加資格: 1 チーム (中学生以上の方を含む3人) ※メンバーは学内外問いません!

参加費無料

参加者を募集中です。12月8日までに下記へご連絡ください。

★応募申込・問い合わせ:地域連携推進課(内線 270)

TEL:048-477-0958 (直通) ※土・日・祝日を除く9:00~17:00 / Mail:coc@jumonji-u.ac.jp

「プレプラ」がいよいよスタート!~12月から十文字の森で~

本学内に子ども達の外遊びの場を設ける「プレプラ」事業が、12月5日、十文字の森でスタートします。「プレプラ」とは「ソトプレ」と十文字の「プラス」を組み合わせた名称。NPO法人新座子育てネットワークが進めていた自然の中で子どもの外遊びを通して自主性や判断力を育む取り組み「ソトプレ」を、本学と連携して行います。

12月は毎週土曜日に開催します。子ども達の笑顔と成長が楽しみですね。

音楽で地域とつながる ふるさと新座館でコンサート

10月3日、「ふるさとにいざ◆オータムコンサート」を開催しました。ふるさと新座館にあるスタインウェイピアノを活用しホールを活性化しようと、本学と新座市教育委員会との共催で実施しました。人間福祉学科の久保田葉子講師とヴァイオリニストの上野真理さんによる演奏のほか、同科の学生7人が手話ソングを披露。コンサートの題名にちなんで童謡「ふるさと」を手話付きで歌い、会場にも呼びかけて観客全員で合唱。会場は大

きな拍手に包 まれました。

動画が本学 HPに載ってい ます。ぜひ ご覧ください。



十文字の学生も大活躍 新座市産業フェスティバル

10月10日~11日にかけて開催された新座市民まつり産業フェスティバル。本学の学生も様々な活動に参加しました。"ゾウキリンくらぶ"と"いもプロ"のブース出店、商工会青年部との合同企画「新座クイズ王決定戦」の運営や司会を行いました。他にも健康栄養学科の学生によるダンスパフォーマンスの披露、ゴミ拾いタイムの手伝い等、地域と協力してお祭りを盛り上げました。



地域连续活動 TOPICS



新座駅前で街頭募金活動を行う学生たち

9/16 ひまわりプロジェクトに教職員と学生が参加 9/27 新座市栄四丁目商店会「さんま祭り」に参加

9/30 第2回「+(プラス)キャンパス連絡会議」開催

10/1・6 新座駅前で赤い羽根街頭募金活動

10/3 「ふるさとにいざ**♣**オータムコンサート」開催 10/4 新座市民総合体育祭に出演(ダンスパフォーマンス)

10/10~11 新座市民まつり産業フェスティバルに参加

10/29 「COC事業に係る新座市との意見交換会」開催

11/1 すきっぷたうん商店会青年部 "チャリティ屋台村"に参加 11/7~8 新座市収穫祭に"いもプロ"が出店

11/8 新座市国際交流デーに吹奏楽部が出演

COC事業で新座市との意見交換会を開催



会議で発言する須田健治市長

新座市と本学教職員がCOC事業について話し合う意見交換会 が、10月29日、7号館6階会議室で開催されました。新座市からは 須田市長、金子教育委員会教育長をはじめ行政・教育の担当者9人、 本学からは地域連携推進機構長の横須賀学長をはじめCOC事業に 関係する教職員17人が出席しました。

会議では、現在の新座市との主な連携事業を本学が説明し、特に市 民の健康づくり事業に対して今後どのような貢献ができるかを述べ ました。新座市からは、現在活動中のものから、今後想定される市と 本学の連携事業について幅広い視点から提案がありました。

その後、全体協議が行われ、出席者からは、「多くの学生がココフレンド(子どもの放課後居場所づくり事業)にス タッフとして来てくれるとありがたい」「市が開催するイベントなどで、市民と学生が触れ合う機会を作っていきた い」「防災は街を知るうえで良い切り口なので、今後は市の防災活動に大学も関わっていきたい」などの発言がありま した。

COC 研究プロジェクト pick up 地域志向教育研究の取り組みを紹介します

新座市「フシギマップ」プロジェクト

◇代表者:東畑開人(人間発達心理学科 講師)

◇プロジェクト構成員:渡辺哲也氏(新座市)、東畑ゼミ9名

新座の"むかし"と"いま"を不思議でつなぐ

新座市にはどんな不思議があるのか?東畑ゼミでは新座市の 学芸員の協力を得て、新座に語り継がれている昔話や伝説を調 べてその場所へ出向き、昔話と現代の風景をつなぐ活動をして います。

「普段暮らしているこの地に、そんな伝説があったのか」とい う検証にはじまり、学生の感性を生かしながら「こんな妖怪がい たんじゃないか?」と現代人にとっての妖怪の姿を想像し、考え る。それらの成果を桐華祭で発表しました。現在「新座市ふしぎ MAP」を作成中です。

学生は市の職員とディスカッションをしたり、団地の高齢者 や寺の住職、タクシー運転手などに現代の怖い話・不思議な話に ついてインタビューをしました。このような交流を通じて学生



の交渉力・人間力も鍛えら れました。また新座の歴史 や文化を再発見すること で地域を見る目が変わり、 理解も深まりました。

今後は、作成した MAP を 観光案内所などで活用し てもらいたいと考えてい ます。

産学官連携による地域の食材を使った商品の開発

◇代表者:金高有里(食物栄養学科 講師)

◇プロジェクト構成員:名倉秀子(食物栄養学科 教授)、岡本節子 (食物栄養学科 准教授)、工藤貴子(食物栄養学科 助手)

地域の企業と連携して商品開発を目指す

金高ゼミの学生は、志木駅近くにあるコミュニティスペース "&Livlan (アンドリブラン)"と連携し、地域の食材を使った商 品の開発を目指しています。企業側からの意見を元に改良を重ね、 メニューの試作・提案を続けています。

消費者のニーズに応える食品を作る意識に加え、コストパフォ -マンス、食材管理、栄養価など、多くの視点から考えて試行錯誤 しています。10/4 には「朝霞アートマルシェ 2015」で&Livlan と 共同出店し、「キャロコロ」という新座産のにんじんを使ったスイ -ツを販売しました。企業との打ち合わせ、プレゼン、試作、調理 などの工程は、学生が主体となって行っています。さらに、新座市

> 内のダチョウ牧場、"並木屋"との 商品開発も進んでいるようです。



保育園で食育活動

8月に新座市の保育園で、園児 と一緒にアイスクリームの調理 を行いました。自分達が食べてい るものはどのようなものから作 られているのか?園児が分かり やすく、楽しく作れるように工夫 しました。

「大学自慢コンテスト」にプラスちゃんと参加

10月8日、松本大学(長野県松本市)で開催された「大学自慢コンテスト」に本学が参加しました。学生と教職員、さらにプラスちゃ んも登場し、地域連携の取り組みなどについてプレゼンテーションを行いました。入賞はなりませんでしたが、地域活動に学生が参加し ている点を評価されました。

【今後のCOCおよび地域連携事業】

市役所本庁舎前市民広場のオープンカフェで"いもプロ"が出店 11/22 (日)・29 (日)

12/20 (日) 10:00~15:00 野火止用水ご当地グルメ・ゆるキャラフェスティバルに "HUG ネット" "プラスちゃんくらぶ" "いもプロ" が参加

12/20 (日) 13:00~15:30 本学で埼玉クイズ王決定戦予選を開催



9/30 の「第 2 回プラスキャンパス連絡会議」と 10/29 の「COC 事業に係る新座市との意見交換会」では、地域の方の意見を伺える 貴重な場となりました。これからも地域の声を聞いて、大学とつなげていきたいと思います。ニュースレターに掲載する情報も、引き続 きお待ちしております。(編集部)